

VR/MRシステムの活用

～そこにはないものを体験できることを目指して～

岩崎 洋平

画像工学

VR (仮想
現実) / MR (複号
現実)

防災／減災

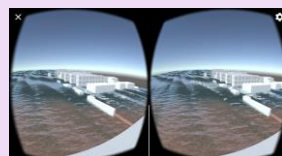
研究室の所在：電気情報工学科棟1階

・なぜこの研究をしているの？

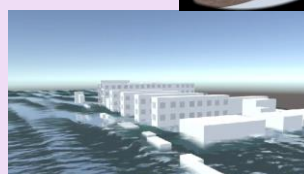
現実空間の情報（あるもの）と仮想空間の情報（ないもの）をリンクすることで、より多くの役に立つ情報を分かりやすくユーザに提供する。この技術により、これからの情報化社会（ソーシャル）において様々な課題を解決し、安全・安心・快適な社会を構築するとともに新たな価値を創出すること（デザイン）を目的としています。

・具体的に今やっているのはどんなこと？

仮想空間内に構築した高知高専にVR技術を用いて津波のCGを表示、津波を仮想的に体験することのできるシステムの開発



VR画面



学校全体の様子

熊本地震により制限されている通潤橋の放水をMR技術で再現することにより、観光客がいつでもそれを見ることができシステムの開発



再現前

再現後

・研究成果はどのようなモノやコトに役立つの？

実際には体験することができないことや難しいことを体験することができるようになります。より効果のある防災訓練やよりリアルな被害状況の予測・確認に役立ったり、新たな観光資源の創出にもつながります。